

CASBEE-建築(新築)2016年版 倉吉病院増改築工事		■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				3.7	0.15	2.4	1.00	3.6
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		待・診・病室)サッシ遮音性能T-2以上		4.4	0.40	2.5	0.40	
2 界壁遮音性能		診)1F 診察-8 Dr-45		5.0	0.40	5.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				4.0	0.60	2.0	0.30	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音		待・診)床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板		-	-	1.0	0.20	
2.6	0.35	2.9	1.00	2.6				
2 溫熱環境				3.2	0.50	3.4	0.50	
2.1 室温制御				3.0	0.38	3.0	0.57	
1 室温		待・診・病室)断熱材を強化し、外皮性能を向上		4.0	0.25	4.0	0.43	
2 外皮性能				3.0	0.38	-	-	
3 ゾーン別制御性				2.0	0.20	3.0	0.20	
2.2 湿度制御				2.0	0.30	2.0	0.30	
2.3 空調方式				3.0	0.25	3.8	1.00	3.1
3 光・視環境				3.2	0.30	5.0	0.30	
3.1 昼光利用		病室)1.25%以上		2.0	0.60	5.0	0.60	
1 昼光率				-	-	-	-	
2 方位別開口		待)ハイサイドライトの採用、病室)光庭の計画		5.0	0.40	5.0	0.40	
3 昼光利用設備				3.0	0.30	3.0	0.30	
3.2 グレア対策				3.0	1.00	3.0	1.00	
1 昼光制御		病室)手元スイッチにより各ベッド単位で制御可能		3.0	0.15	1.0	0.15	
3.3 照度				3.0	0.25	5.0	0.25	
3.4 照明制御				4.0	0.25	4.0	1.00	4.0
4 空気質環境				4.0	0.50	4.0	0.63	
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆を全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
1 化学汚染物質				4.0	0.30	4.0	0.38	
4.2 換気		待・診)各法を満たす換気量の1.2、1.4倍以上 病室)各法を満たす換気量の1.2倍以上		3.5	0.30	4.0	0.38	
1 換気量				4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能		病室)汚染源のない方位、かつ6m以上離れて設置		-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		全館禁煙		5.0	1.00	-	-	
2 喫煙の制御				-	0.30	-	-	3.5
Q2 サービス性能				3.6	0.40	4.8	1.00	3.7
1 機能性				3.0	0.40	5.0	0.60	
1.1 機能性・使いやすさ		病室)個室10m ² /床以上、多床室8m ² /床以上		-	-	5.0	1.00	
1 広さ・収納性				3.0	1.00	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				5.0	0.30	4.5	0.40	
1.2 心理性・快適性		病室)天井高2.5m以上		-	-	4.0	0.50	
1 広さ感・景観				5.0	1.00	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		待・診・病室)内装に配慮した計画		-	-	-	-	
3 内装計画				5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-	
1 車体材料の耐用年数		外壁:タイル貼 40年		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・給湯・排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				4.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		非常用発電設備の設置、受電設備の二重化等		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		耐震クラスS		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		通信の多様化、有線電話、ケーブルテレビの採用等		4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				5.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				5.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.4	0.30	3.3	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	3.6	0.50	
1 階高のゆとり	待・診)平均階高 3.9m以上、病室)基準階階高 3.7m以上3.9m未満	5.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	待・診)壁長さ比率 0.1以上0.3未満	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	壁面位置の後退、設備目隠しにより周囲からの見え方に配慮、既存樹木を保存等	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	施設の一部を地域に開放、中庭や光庭の計画、防犯カメラの設置等	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm = 0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	光庭による自然採光の利用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化	[BEI]/[BEIm] = 0.82	2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水	節水コマ、自動水栓、省水型機器を主要水栓の過半に採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	雨水の消雪・散水利用	4.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器質タイル(外壁仕上)、断熱材(スラブ下断熱)、ビニル床材(床仕上)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上とし躯体と仕上材が容易に分別可能、可動間仕切の採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	運用時のLCCO2排出量を低減	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐輪・駐車スペースの確保、管理用駐車スペースの確保、駐車場への導入路を複数計画	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	ゴミの種類や量の推計、屋外のゴミ庫、屋内の分別回収の計画等	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明の設置なし	5.0	0.70	-	-	
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	